

「第4回 白川・緑川 水防災意識社会再構築協議会」開催

平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、白川、緑川において氾濫が発生することを前提として洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした「白川水防災意識社会再構築協議会、緑川水防災意識社会再構築協議会」を平成29年1月27日に発足し、白川、緑川の減災に係る取組方針をとりまとめました。

今回は、概ね5年間で実施する取組のうち、これまでの取組状況と重点取組方針の今後の進め方について議論を行いました。

開催概要

- 日時 : 平成31年4月18日(木)15:00～
※水防連絡会、洪水予報連絡会と合同開催
- 会場 : 火の国ハイツ 2F瑞鳳の間
- 出席者: 嘉島町(代理:建設課長)
美里町(町長)
熊本市(代理:危機管理防災総室長)
甲佐町(町長)
御船町(代理:総務課長)
宇土市(市長)
宇城市(代理:防災消防課長)
熊本県河川課(課長)
熊本県危機管理防災課(代理:審議員)
気象庁熊本地方气象台(台長)
熊本河川国道事務所(所長)
立野ダム工事事務所(所長)
緑川ダム管理所(所長)

(市町においては五十音順)

議事内容

- ・平成30年度の取組状況
- ・白川・緑川の減災に関する重点取組方針について
- ・白川・緑川水防災意識社会再構築協議会取組工程表



確認事項

- ・広域避難に関する取組について、各市町のハザードマップに広域避難情報を取り込み、協議会として全体版広域避難ハザードマップを作成することを確認。
- ・防災教育に関する取組について、熊本市、甲佐町は引き続き防災教材を活用した授業を実施し、その他の市町は防災教材を活用した授業を実施することを確認。
- ・情報共有に関する取組について、熊本県防災情報共有システムの構築・展開など防災情報を一元的に集約した情報ツールの整備を進めることを確認。